

志免町のジェネリック医薬品差額通知事業等普及啓発活動

【現在の取組み状況及び結果】

- ・平成23年10月 福岡県国民健康保険団体連合会が後発医薬品普及促進支援事業として、後発医薬品普及促進支援システムの運用を開始
- ・平成24年4月 ジェネリック医薬品差額通知作成委託開始
- ・平成24年6月 平成24年2月診療分の差額通知発送（200通）
切り替えた場合の薬剤費の効果額が多い順に対象者を抽出
削減可能な割合を%表示で通知
以後毎月200名に郵送（被保険者11,481名）
差額通知除外希望者は現在約20名
- ・平成24年度 削減効果額 1,665,091円 後発医薬品利用率（数量）30.5%
- ・平成25年度 削減効果額 2,829,248円 後発医薬品利用率（数量）32.3%
（9月末時点）

【住民からの意見及び要望】

- ・差額通知を始めた頃は、「ジェネリック医薬品とは何ですか」という質問がありましたが、国民健康保険の窓口で特に意見を言われた方はありません。
- ・「医師からあなたの場合はジェネリックに替えられませんと言われているので、この通知をもらっても替えません」という方はいました。

【保険者の抱えている課題及びその対応策】

- ・ジェネリック医薬品についての住民の理解に差があります。今後はジェネリック医薬品を知らない方々に知っていただく広報、啓発をしながら、可能なかぎり切り替えていただくことで、自分たちの町の国民健康保険の安定運営に繋がっていくことを町の広報誌やホームページで知らせていきます。

【保険者としての今後の取組み方針】

- ・志免町の国保被保険者1人あたりの医療費（平成23年度）は312,781円で福岡県下53位に位置していますが、国民健康保険特別会計は毎年1億円を超える赤字で、国保税の収納率向上と医療費削減が至上命題です。調剤に係る費用を少しでも削減できるように、今後とも積極的にジェネリック医薬品差額通知を実施していきます。
- ・3月に新年度の保険証を郵送していますので、その時に「ジェネリック医薬品希望シール」を同封します。（カードの保険証とお薬手帳に貼れる2種類）